

みさき

18号

美咲町議会だより

2009年11月10日発行



力を合わせて まちづくり（中央地域 境神社の秋まつり）

主な内容

- 3~5 依然、厳しい町財政 20年度決算 決算認定特別委員会
- 6~7 9月定例会 7億円の大型補正予算 常任委員会から
- 8~20 災害復旧などを問う 13人が一般質問

9月定例会の報告

(9月9日から30日まで)

定例会が招集され、条例3件、七億四千二百九十二万円を追加する一般会計など補正予算16件、そのほか4件が上程された。

条例の改正など

条例の改正が上程され、審議の結果、全会一致で承認した。主なものは次のとおり。

出産育児一時金を
42万円へ増額

◎国民健康保険条例を一部改正

少子化対策に、健康保険法施行令の出産育児一時金三十八万円を四万円引き上げるもの。

◎旧厚生小学校校舎を無償譲渡

地域密着型特別養護老人ホームとして活用するため、社会福祉法人中央福祉会(白寿荘)へ無償譲渡し介護福祉施設の充実に資する。

20床増やし待機者解消へ (旧厚生小学校校舎)

陳情・請願

敬称は省略させていただきます。

陳情3件、要望5件は、常任委員会に付託し審査した。結果は次のとおり。

私学助成の拡充を

求める意見書

岡山県私学助成を

進める会

会長 小橋 操

厳しい経済情勢であり、国の動向を見極めながら趣旨採択とした。

天皇陛下御即位

二十年賀詞決議

天皇陛下御即位二十年

岡山県奉祝委員会

会長 稲葉侃爾

慶賀の誠を表すものであり賛成多数で採択とした。

柵原総合支所

駐車場にある

バス車庫の善処

美咲町区長協議会

柵原分会長 梶尾 克

柵原総合支所庁舎改

築を含めた総合的な計画を策定することで解決を図るべく趣旨採択とした。

中央グラウンド

ゴルフ場放送設備

設置

美咲町GGA中央会

会長 長岡銀之助

町内のほかの施設と統合を図るため採択とした。

柵原東保育園児の

スクールバス利用

柵原東保育園保護者会

会長 難波和朗

園児の送迎は保護者が原則だが、子育て支援の観点から議論があり趣旨採択とした。

分譲宅地販売に

地元業者・県産材の

活用を

美咲町建築部会

代表 井上英昭

津山木材組合美咲

代表 難波芳英

宅地販売促進と地場産業育成の両面から採択とした。

町道田尻門口線ほか

2路線の改良工事

角石祖母地区

区長 岩崎徹正

煤谷川堰ほか13カ所

の改良工事

吉ヶ原地区

区長 妹尾知興

各地区の意向を尊重するが、今少し状況の把握に努める必要がある。よって継続審査とした。

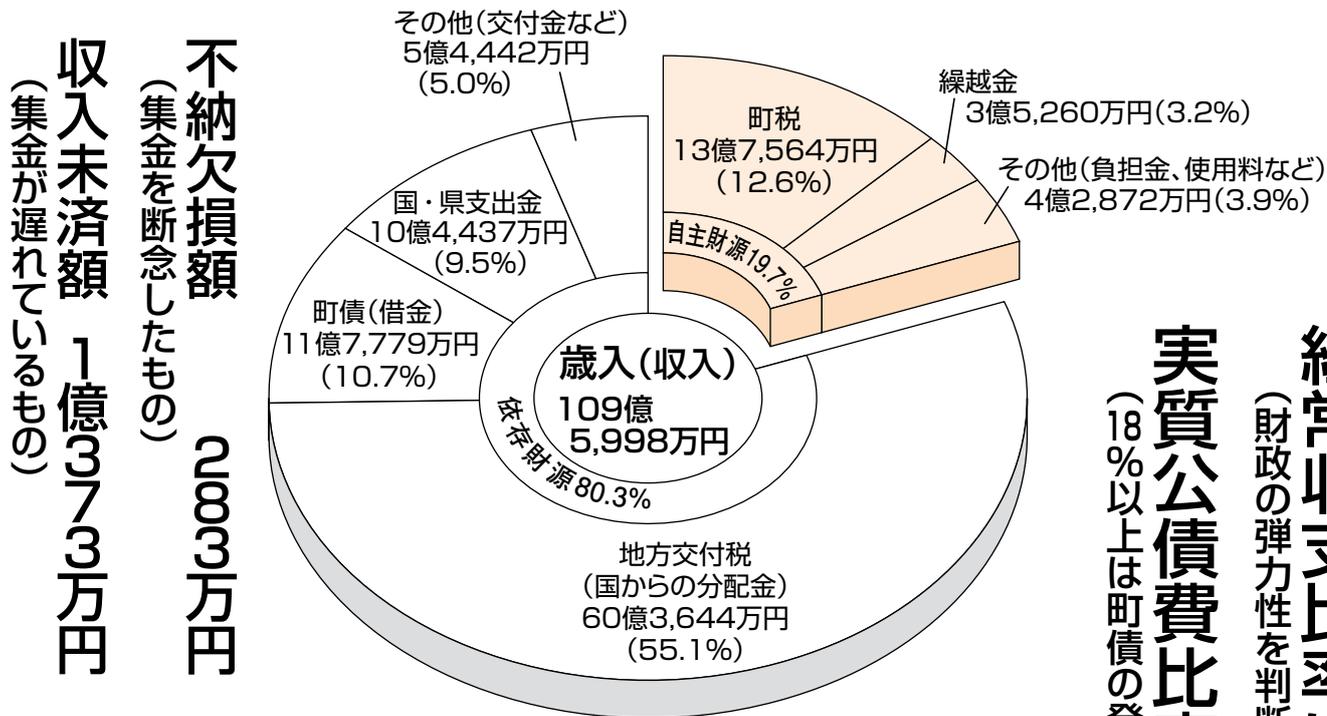
まだまだ厳しい 美咲町の財政

歳入109億5,998万円 (19年度比1.1%の減)

自主財源は約21億円 借金の返済に約27億円

20年度歳入歳出決算報告

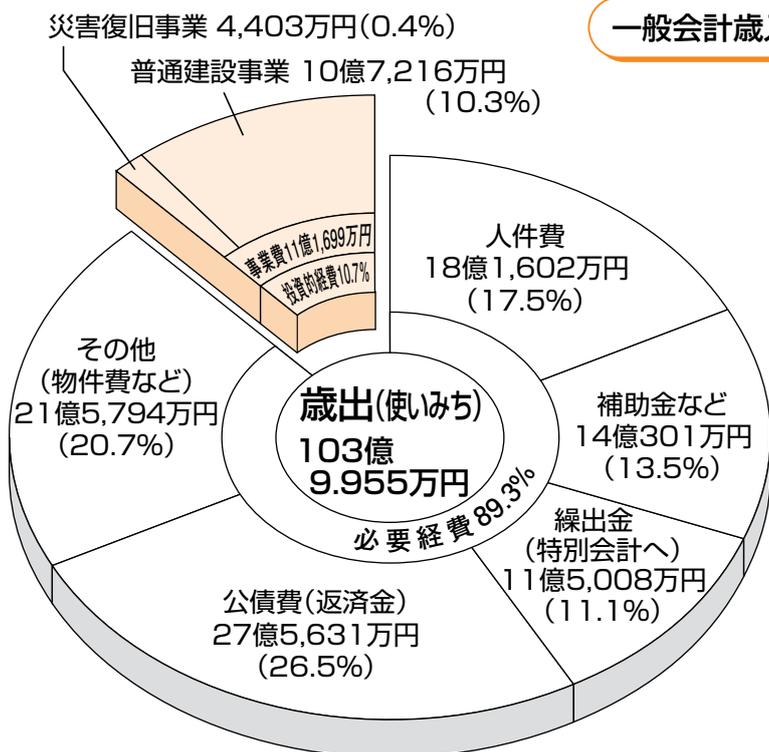
一般会計決算



経常収支比率は87.5%にやや改善
(財政の弾力性を判断する指数 75〜80%が健全とされる)

実質公債費比率は20.0%と依然として高い
(18%以上は町債の発行に県の許可が必要)

一般会計歳入歳出内訳



将来を予測した財政運営を

決算認定特別委員会

9月24日・25日に各課から提出された決算事務報告書を基本に20年度の事業内容、執行状況など説明を受けた。

決定した予算の執行が適正に行われたか、主に支出状況と費用対効果の評価を基準に審査した。

一般会計と二十八の特別会計の概要は図表のとおりである。

野外趣味活動施設事業特別会計は、合併以前からの赤字解消がようやく終わり廃止となる。

実質公債費比率などの財政構造指標は合併以来悪化の傾向である。21年度以降の公共下水道継続事業、中央中学校建設などの大型事業が控えており、後年度への負担増が予想される。将来を予測し、健全な行財政運営を求め、生活に根ざした元氣な町政運営を期待する。

指定管理者制度の運用に監督責任を求めるものの20年度決算を全会一致で承認した。

特別会計決算

野外趣味特会の廃止・医療制度の移行で 歳入・歳出総額は共に大幅減

20年度 28特別会計の内訳

	特別会計内訳	歳入額	歳出額
貸付事業	住宅新築資金等貸付事業	2,217万円	5,483万円
バス運行事業	津山・柵原線共同バス運行事業	1,799万円	1,427万円
	津山・西川線共同バス運行事業	1,760万円	1,578万円
	旭川ダム沿線バス運行事業	4,080万円	3,651万円
保険事業	国民健康保険事業	18億2,302万円	17億8,868万円
	老人保健事業	2億8,459万円	2億3,611万円
	介護保険事業	17億2,662万円	16億9,972万円
	介護サービス事業	1,070万円	1,070万円
	久米郡介護認定審査事業	975万円	957万円
	久米郡障害者区分認定審査事業	89万円	83万円
	国民健康保険診療所事業	610万円	600万円
	後期高齢者医療	1億8,916万円	1億8,749万円
水道事業	柵原飯岡簡易水道事業	2,268万円	1,638万円
	柵原北部簡易水道事業	2億4,669万円	2億4,173万円
	柵原中央簡易水道事業	8,732万円	8,320万円
	総合簡易水道事業	4億680万円	3億9,903万円
	中央簡易水道事業	2億914万円	2億524万円
	中央北部簡易水道事業	2,791万円	1,308万円
	中央打穴・大坪和簡易水道事業	9,017万円	8,122万円
	下水道事業(吉岡勘定)	1億3万円	9,722万円
	柵原公共下水道事業	4億3,778万円	4億764万円
	中央公共下水道事業	5億9,711万円	5億8,387万円
その他	みさきネット事業	9,304万円	9,267万円
	三休公園事業	1,251万円	1,079万円
	野外趣味活動施設事業	9,041万円	9,041万円
	土地開発事業	2,115万円	2,044万円
	用地取得造成事業	2億5,529万円	2億5,506万円
	倭文西財産区	28万円	0万円

歳入決算総額
69億

歳出決算総額
67億1765万円

決算認定特別委員会

主な質疑応答

【総務課】

問 防災情報ネットワーク事業は二千三百四十八万円と高額だが、その効果は。

答 衛星通信で県から災害情報が入る。混乱がないように対応する。

【企画財政課】

問 町の施設管理を指定管理者に委託しているが、活動・決算報告書はあるか。公募も検討すべきでは。

答 活動・決算報告は受けている。公募は未定。

問 行財政改革検討会議、無駄なし委員会の開催がないのはなぜか。

答 各課で行っているため全体では開催していない。

【健康増進課】

問 高齢者緊急警報装置の設置に百八十万円、その内容は。

答 独り暮らしの高齢者、心臓疾患のある人に百九十四台を設置している。

問 学校給食の地産地消は進んでいるか。

答 給食費を上げない目的で導入。米は100%、野菜は可能な限り努めている。

【税務課】

問 滞納ゼロへの対策は。

答 滞納整理組合に加入。各戸訪問で滞納整理に努めている。

【住民課】

問 老朽化した吉ヶ原ブロック住宅の入居状況、解体計画は。

答 ほかの住宅へ移転を促しているが進んでいない。本年度

は一棟解体する。

【上下水道環境課】

問 簡易水道の20年度末借金残高と基準外の一般会計からの繰入額は。

答 借金残は三十四億四千五百九十九万円。基準外繰り入れは高料金対策も含めて七千八百四十三万円。

【産業観光課】

問 新築木造住宅の普及促進事業は、

70%以上の県産材使用、床面積六十六平方メートル以上に二十五万円の助成制度があるが、面積の上限が必要では。

答 県では、木材80%以上、床面積八十平方メートル以上が対象で上限はない。町も設ける考えはない。

問 耕作放棄地への対策は。

答 8月に「担い手育成総合支援協議会」を町・JA・農業委員会・農業改良普及

所で結成。

耕作放棄地復元の支援を行う。

【建設課】

問 美作岡山道建設負担金に七百五十万円を計上。しかし、

町内の工事は進んでいないが。

答 総額六千万円の負担金を毎年関係八町村で完成するまで支払う必要がある。町

内工事も早期の着手を強く要望している。

【情報交通課】

問 IP電話の加入状況は。

答 現在の加入は二千七百十七戸と半数に届かない。加入促進を図る。

問 津山柵原間共同バスを英田バスなどの連携で広域化できないか。

答 財政の問題もあり難しい。公共交通のさまざまな制度を利用してほしい。

答 圏域内で重複路線が多い。広域で運行管理する方向で検討する。

【保健福祉課】

問 重度心身障害者へのタクシー券・給油券の利用を拡大すべきでは。

答 財政の問題もあり難しい。公共交通のさまざまな制度を利用してほしい。

問 国保会計は、後期高齢者医療制度の発足により被保険者数・基金共に減少している。今後の運営は。

答 国保健全運営のため保険税率の変更も検討する必要がある。

【教育委員会】

問 美咲中央小学校の光熱費は八百万円と突出している。床暖房のためではないか。

答 給食室のオール電化などによる。床暖房が原因とは考えられない。



おいしいな 地元産のごはん (柵原東小学校)

常任委員会から

総務 ユビキタスで 情報カメラを設置

21年度一般会計、特別会計、条例案件6件など付託された12件を審査し、全会一致で承認した。

◎一般会計補正予算

歳入歳出に七億四千二百九十二万円を追加し、総額百十三億四千八十二万円とするもの。

【歳入】国庫支出金二億二千五百四十六万円、県支出金二千五百三十三万円、財産収入千四百一十万円、繰越金三億千六百三十三万八千三百三十三万円。

【歳出】総務一般管理費三百万円は22年度施行の人事評価制度事業費。財産管理費二億六千万円は基金積立金。企画費一億円は小・中

ものか。
答 ユビキタスとは、いつでもどこでも・だれでもという意味である。

情報カメラを各地に設置し、撮影した映像をテレビ放映するもの。防犯、防災、観光などに活用できる。町内二十六カ所に配置する予定。

■主な質疑応答

問 人事評価制度への取り組みは。

答 国は取り組み中、県は現在調整中、市町村は22年度からの取り組みに向けて準備中。

問 選挙投票所の統合は検討しているか。

答 期日前投票も浸透してきているので、来年の参議院選挙に向けて協議していきたい。

問 ユビキタスタウン構想とはどんな

供する。

問 電気使用、カメラの維持管理などは大丈夫なのか。

答 既設の電源を使用する。5年程度で修理が必要。屋外カメラの維持管理が難点。

(関連記事8ページ)

■現地を確認

緊急経済対策で購入した消防自動車および環境エコカーの配置状況、消防機庫に設置されたIP電話の設置状況、町営住宅団地の現状把握など視察を行った。



新しく配備された消防車 (柵原第3分団)

民生教育

星の里マラソン大会に

800万円

付託された議案9件を審査し、承認した。

◎一般会計補正予算

老人福祉費一億千五百四十四万円の増額は、地域密着型特別養護老人ホームの増床、白寿荘の増築、シヨートステイの増床など。学校建設費一億二千万円の増額は、中央中学校建設に伴う用地買収費。

保健体育総務費九百五十四万円の増額は、柵原星の里マラソン大会に八百万円、美咲町ロードレース大会に二百万円など。

■主な質疑応答

問 保健センター増築工事の現状は。

答 保健センターの北側駐車場に百四十三平方メートルの大

広間を増築。現在の施設が手狭なため多目的に使用できる。基本設計は済んでいる。実施設計終了後に入札をし、完成は22年2月末の予定。

問 国民健康保険事業の基金残高が減っているが、運営は大丈夫か。

答 本年度は何とか運営できるが、来年度以降は厳しい。国保税の見直しも考えなければならぬ。

問 安心して仕事ができるよう保育士・調理員などの嘱託職員の常勤化はできないか。

答 県町村会からの指導があり難しい。小・中学校での乳製品による食育



開催が待ち遠しい 柵原星の里マラソン

答 岡山酪農乳業協会と協力し、本年度に検証する。

問 柵原星の里マラソン大会の開催費が昨年の決算より二百万円多く計上されているが。

答 日本赤十字社の医師などの派遣がなく、医師・看護師の確保が必要となった。また、警備体制の

強化を年々厳しく指導され、それに対応する経費の増額分。

■現場を確認

9月18日、厚生小学校跡地の現地確認を行った。校舎二階を改修し、地域密着型特別養護老人ホームに二十ユニットを増床、小規模多機能ホームの増築など、本定例会の補正予算に計上の個所を確認した。

産業建設

太陽光発電・エコカー
補助金を増額

付託された一般会計、特別会計補正予算など8件を審査した結果、全会一致で承認した。要望3件は継続審査とした。

◎一般会計補正予算

環境対策費で人気のエコカー・太陽光発電に百五十万円。農業振興費で黒豆選別機をJ

A・久米南町・美咲町が共同出資で購入し、南部営農センターへの設置に二十九万五千円。ハザードマップ作成委託費。災害復旧費の八千二百六十五万円は21年度災害復旧費の80%。緊急雇用三百十六万円は、中央運動公園清掃管理員二人分。

◎特別会計補正予算

簡易水道特別会計へ九百四十七万円の繰出

金。柵原下水道会計三十八万円減額。公共下水道特別会計八十万円は、流量計雷被害の分担当。旭統合簡易水道特別会計七百万円は、黒岩地内の給水および支所間のケーブル接続費用。

■主な質疑応答

問 借換債（低金利に借り換える）はどの時期にするのか。
答 年度末に調整する

問 下水道の加入率が50%前後と低いので、区域見直しを。
答 加入率の向上に努める。そのほかの地区は合併処理浄化槽で対応する。

問 米粉製粉機導入の進捗状況は。



早期完成が望まれる町道改良工事（江与味地内）

答 機種を選定中。北地区に設置予定で設計中。学校給食に対応したい。

問 かねうち食堂の民間委託は考えられないか。
答 美咲町イコール「たまごかけごはん」のイメージがあり、現状を続ける。近日、幸福定食の第二弾を発売予定。

問 町道の舗装など悪い箇所が目立つが対応は。

答 町道の舗装、側溝、倒木などは随

時調査している。急ぐ所から修繕している。
問 エコカー・太陽光発電の補助金は申し込み順で決定しているのか。
答 申し込み順で決定している。今後の需要は増えると予測している。

■現場を確認

旭地域の江与味地内に整備している町道大山本線道路改良工事の工事概要、進捗状況、今後の工程などを確認した。

問う

一般質問

問 町は本年度で役場本庁舎の耐震改修工事、22年度から中央中学校建設工事を計画している。ほかにも柵原総合支所、柵原保育園、保健センターなど、今後取り組まなければならぬ課題は多



日神山定茂 議員

質問 長期的な視点での建設計画を示せ
答弁 財政状況を見定めることが必要

問 町民への情報伝達方法に告知放送、広報紙などがあるが、町からの重要なお

答弁 情報カメラ活用で幅を広げる

質問 告知方法を見直す考えは

くある。本庁舎も各課が別棟に分散し、会議室・駐車場も少なく町民に不便をかけている。これらの課題をどのように解決していくのか。長期的な視点での建設計画を策定し、広く町民に示すべきでは



手狭な本庁舎と駐車場

答 定本町長 国政が新政権に移行したことで、今後の町政にどう影響してくるのかわからない。財政状況を見定めたくて、えで計画策定に着手していく。

知らせなどが十分に伝えられているのだろうか。告知放送の時間帯変更や聞きたくなるような内容などを検討してはどうか。新しい方法は考えられないか。

答 定本町長 告知放送、広報紙のほかにインターネット、みさきテレビ、屋外拡声器などさまざまな方法で知ってもらえる方策を取っている。本年度、新たな試みにユビキタスタウン構想を事業化する。

答 中西情報交通課長 ユビキタスタウン構想とは、情報カメラを各地に設置し、撮影した映像をリアルタイムでテレビ放映するもの。防犯、防災、観光などに活用できるため小・中学校、吉井川・吉野川、三休公園など二十六カ所に配置する予定。パソコンが使えない人でもテレビで見えるようにする。

祭2010が来秋開催される。美咲町の対応は、大井地区の豊かな自然や歴史と伝統を広く全国へ発信すべく「柵田フェスティバル」の開催を計画している。このほか岸田吟香記念館での催しなども今後検討する。

答 泉教育長 第25回国民文化祭2010が来秋開催される。美咲町の対応は、大井地区の豊かな自然や歴史と伝統を広く全国へ発信すべく「柵田フェスティバル」の開催を計画している。このほか岸田吟香記念館での催しなども今後検討する。

問 22年の秋、県内で国民文化祭が開催される。キャラバン隊が来町したと聞か

質問 22年度の国民文化祭への対応は
答弁 柵田の歴史を中心に全国へ発信

町政を

通学路の点検を早急に

安心・安全な環境をつくる



下山和由 議員

問

台風や集中豪雨の時に通学路へ枯

れ木が倒れ、生徒の登下校に危険な状態である。特に、柵原中学校はすべての通学路が山野の中にある。

先日も登校時間帯の前に中学校職員からの

答弁

通報で事無きを得たと聞く。生徒や職員が被害に遭わないために早急な点検が必要である。危険箇所は私有林地権者の理解を得て対応を急げ。

答

山本教育総務課長

柵原中学校への通学路は、火田城橋方面、藤田上方面、駐輪場からの三ルートがある。現在PTAからも要望書が出ており、柵原総合支所とも連絡を取り合いながら点検を進めている。生徒たちの安全を確保する。

答

定本町長

国の緊急雇用対策事業で雇用した人員に通学路にかぶさっている木の伐採を依頼する。



危険 木の処理をする役場職員

質問

保育園送迎時の

駐車場を確保せよ

答弁

適地確保に向け調整中

問

来年4月から柵原地域の保育園児は保護者の送迎が必要となる。

柵原西保育園は、現

在でも送迎時の路上駐車に地域から苦情が出るなど、保護者、関係者も頭を痛めている。グラウンドの一部、ま

答

定本町長

たは近隣の遊休地に駐車場を確保するなど対応を急ぐべきではないか。

問

保護者の中には柵原西保育園と藤原保育園の両方へ送迎する人もおられ、22年度は六十人の園児送迎が始まる。保護者への説明会を行う予定はあるのか。

答

桑元住民課長

22年4月からの保護者による園児送迎はすでにお願ひしている。あらためての説明会は予定していない。



中央中学校建設予定地

質問 進んだか
地元との協議
理解を得ながら
進めていく **答弁**



江原耕司 議員

問 中央中学校の建設に伴い用地交渉、建設業協会施設移転の是非、プールの配置、グラウンドの排水、管理棟の有効活用など、地元との協議は進んでいるか。

答 定本町長 建設業協会の施設は移転地の問題で多額の費用がかかるため購入は困難である。

答 山本教育総務課長 用地確保は、地権者に土地単価を示し協力を求めている。測量にも着手している。プール・テニスコートの位置、グラウンドの排水など、学校建設検討委員会の意見を聞きながら判断する。管理棟は県からの指導があり撤去したい。

問

下水道工事後の道路舗装復旧や地

答弁

元から要望のある国道・県道・町道などの
要望箇所を調査し
順次整備する

質問

地元要望の
道路整備を早急に



早期の改善が望まれる県道（原田地内）

道路整備は、今後どのような計画になっているのか。

答 山本上下水道環境課長 下水道整備を行って

答 池本建設課長 住民から要望書の出ている箇所は、現地在を調査し維持工事に対応する。

亀甲駅裏の皿川堤防道路は県の許可が下り次第、工事に着手する予定。原田上町の道路整備は県に強く要望する。そのほかの整備は関係機関と調整しながら進める。

質問

防災協定の締結は

早急な締結に努める

答弁



貝阿彌幸善 議員

問

近年の気象状況は、どの地域で災害が発生してもおかしくない。

建設者との防災協定はどうあるべきか。

答

形井副町長

町内の建設者と各地域ごとに区域分けを行い、協力体制をお願いしている。建設業協会へ全町の防災協定の締結を依頼しているが、進展していない状況。

問

そんな甘い考え方ではとても災害



災害には万全の対応を

するのが筋である。

建設者と十分話し合い、一社一社と協定を結ぶことが行政の務めではないか。

答

定本町長

これまでの緊急時の対応は十分機能していたので、行政側にも少し甘えがあったように思う。住民が安心できる体制づくりに向けた防災協定を早急に締結するよう努める。

を抑えることはできない。

防災の一番の目的は、住民のためのもの。住民の負託に応えるためには行政からお願い

質問

公共マスへの工事費はどうなった

不利益にならないよう再検討する

答弁

問

昨年12月定例会の一般質問で「公共下水道が供用開始された後に新規加入する

場合に、本管から利用者宅の公共マスへつなぐ宅内引き込み管工事費の一部を利用者が負担するのは法的に問題

答

課長

現時点で大きな問題はないが、町民の不利益にならないように研究を続けていく。

があり、再度検討する」との町長答弁があった。その後の報告がないがどうなっているのか。

答

定本町長

下水道に後から

公共下水道における費用の利用者一部負担は下水道法に触れることはない。行政政策上の考え方で検討すればよいが、平等性を欠くところがあれば再度十分検討する。

加入した家への宅内引き込み管の工事費は、19年度までは施設整備の方針の違いから中央地域の公共下水道は全額無料（加入分担金に含む）、柵原地域の農業集落排水は全額利用者負担（加入分担金には含まない）となっていた。

この状況を統一するため、工事費四十万円までを町が補助し、それを超えた金額は利用者が負担するように20年度で改正した。



岡田 壽 議員

生かせ外出支援 サービス事業 福祉巡回バスの 利用を

問 町の要綱には外出支援サービスが載っている。この事業は交通手段の確保で、住みなれた地域社会での生活を支援し高齢者の在宅福祉の推進が目的。

近隣市町村への通院場所、役場などへの送迎もできる。利用料も片道三百円から五百円と高齢者には利用しやすい。福祉巡回バス乗り場まで遠い高齢者には最適の事業である。要綱を生かして運用を整備するべきと考えるが。

答 福田保健福祉課長 この事業はデイ

サービス、通院を社会福祉協議会に委託して柵原地域で合併前まで実施していた。社会福祉協議会の合併協議で通院は中止となった。法改正で国・県の補助もなくなったため要綱はあるが事業は終わっている状況である。

答 定本町長 合併前から旧三町にこの要綱はあった。5年前まで社会福祉協議会に委託していたが、今は町が強要できる状態にない。路線変更も検討するので福祉巡回バスを最大限利用してほしい。



福祉巡回バスの多様な活用を

質問 移住者の意見を空き家対策に

答弁 情報収集に努める

問 近年、町内の空き家が多い。移住者同士のネットワークづくりや

意見交換会を持つ計画は。それを基に空き家情報を発信し、決まれば住宅の改造など町内企業の仕事づくりにもなる。

商工会では田舎暮らし支援隊を設立した。協力して体制を整えてほしい。

答 難波企画財政課長 移住者が自主的に組織づくりを計画するなら相談に応じた。空き家の調査、情

報収集は進めていく。移住者が増えれば住宅の改造などで町内企業の育成や仕事も増え活性化につながる。転入促進は図るべきである。

答 定本町長 移住して地域に溶け込むことが一番。

移住者ネットワークや田舎暮らし支援隊の会にも案内があれば出席したい。

質問 結婚相談員制度の復活を
答弁 個人情報保護でできない

問 結婚相談員制度がなくなつて久しい。結婚推進に美咲流ふれあいの場を設けるものの成果が見えない。少子化対策には結婚が先。情報交換し結婚を推進する相談員制度の復活を望む。

答 定本町長 合併前には相談員制度があった。その後、個人情報保護法ができ相談員制度を続けることが困難になった。代わりに出会いふれあいの場を設定し、結婚を推進している。未婚者の意見を参考に結婚に結びつけたい。

後、個人情報保護法ができ相談員制度を続けることが困難になった。代わりに出会いふれあいの場を設定し、結婚を推進している。未婚者の意見を参考に結婚に結びつけたい。

住宅用火災警報器の購入に助成を 高齢者への設置助成を検討したい



松島 啓 議員

問

消防法の改正で18年6月からすべての新築住宅に火災警報器の設置が義務づけられた。既存住宅への設置は本町では23年5月末までに義務づけられている。町民への周知徹底はできているか。

答

住宅火災での犠牲者の六割が逃げ遅れ。その中で高齢者の被害が多い。設置の普及率を上げ、町民の安心・安全を確保するためにも火災警報器の購入助成はできないか。

答

津山地区の建物共済推進協議会が保険加入者に住宅用火災警報器を配布している。

保険の加入率は美咲町全体で53%なので全戸配布はできていない。

町内には独り暮らしの高齢者が千二百十九人いるため高齢者への設置助成を検討したい。

設置義務の周知徹底は広報紙、告知放送、

みさきネットなどで行っていく。

AEDの設置拡大は進んでいるか

問

緊急時に尊い命を守るために※AED(自動体外式除細動器)の設置拡大は進んでいるか。消防署から離れている地域には設置すべきではないか。

答

現在、町内十五カ所に設置、貸出用一台、訓練用一台を合わせて十七台ある。AEDは緊急時に誰もが使えることが重要だ。行事には貸出用を使ってほしい。設置拡大は2年前から進んでいないが、今後検討する。



火災警報器を取り付ける消防団員(旭地域)

※AEDとは、突然心臓が止まった人の胸部に電気ショックを与え正常な状態に戻す医療器具

2学期制導入の成果は

問

町内の小・中学校に2学期制を導入して3年が経過した。成果と今後の課題を検証しているか。

答

導入時には児童・生徒、保護者に戸惑いや違和感があったが、今では定着している。3学期制に比べて行事が少なくなり、授業時間が増えてゆとりのある学校生活を確保している。

答

はないか。泉教育長 今後検討したい。

問

21年4月に実施した全国学力テストの結果と今後の対策は。

答

町全体では県平均より少し低い傾向にある。

しかし、児童・生徒の学習意欲、生活習慣などは県・全国平均を上回る傾向だ。今後も学力向上、生活習慣改善にきめ細かい取り組みを行っていく。

問

前・後期間の休みは9月のシルバーク、または夏休みを短くして10月に5日間程度取るべきで

質問 災害に強い町への取り組みは

地域防災計画を 基本に活動 答弁



角南憲一 議員

町内の防災対策に 気くばりを

問 国道374号線の高下交差点で梅雨期に三回も通行止めとなった。近隣の災害情報が全く報道されなかったが。

答 池本建設課長 8月の豪雨時は美作市内の被害が多く、情報収集に手が回らなかった。今後は危機管理を徹底し、情報の共有に努力する。

問 避難勧告を発令している。この計画に基づいて注意体制、特別警戒体制、非常警戒体制の三段階で活動する体制をしている。

答 池本建設課長 砂防関係では土砂災害警戒区域などの指定箇所が八十一件、治山関係では百二十件が危険箇所。

問 無線電話を設置しているが、いつ使用するのか。また、防災情報ネットワーク高度化事業に多額の支出をしているが、防災に役立つのか。

答 杉山総務課長 無線装置は本庁と支所の双方向から発信できるシステムとして屋外拡声子局を町内二十八カ所に設けている。



えらいこっちゃ!! (藤原地内)

問 飯岡地区の避難場所となる飯岡体育館の漏水対策は。

答 菅尾生涯学習課長 漏水が止まらず、改修方法を検討している。

問 16年の台風16号は床上・床下浸水が五千戸を越える大きな被害を出した。これを契機に避難勧告や指示基準の作成、市町村防災計画の見直しが県から指示され、県と市町村が連携しての取り組みが行われた。

答 杉山総務課長 大雨・洪水などの警報が出た場合、町の防災体制はどうなっているのか。

問 池本建設課長 樋門の開閉は区長、役員、消防団に依頼している。管理要綱を厳守すれば責任はないと思う。

答 池本建設課長 樋門の開閉は区長、役員、消防団に依頼している。管理要綱を厳守すれば責任はないと思う。

問 20年3月に美咲町地域防災計画を策定

答 杉山総務課長

質問

地域の思いやりを 広げる施策を

さらなる活動の展開を
進めていく

答弁



草薙良明 議員

問

行政を運営して
いくうえでボラン
ティア精神を持った町
民の協力は欠かせな
い。中でも民生委員は
住民と行政をつなぐ大
切な役割を持っている。
この人たちを対象と
した研修会・意見交換



期待される農業公社（柵原地域内）

答

民生委員は、住
民の健康状態・生活状
態を把握し、必要な援
助と福祉の増進を行政
に連絡・調整する任務
を担っている。現在六
十七人の委員にふれあ
いなど地域に根ざした
思いやりを広げる施策
を示せ。

福田保健福祉課長

質問

農業公社を

全町へ広げる考えは

答弁

公社の充実を考える

インターネットなど各
種行事のお世話をして
いただいている。今後
も住民、行政、企業、
地域づくりを進めてい
く。

問

農地と農業を
守るために農業公社
を全町へ広げるべきで
はないか。

答

山下産業観光課長
公社の職員・委
員・理事と協議し、高
齢社会に対応できる組
織で全町へ広める。

答

定本町長
耕作放棄地解消
のためにも安心して受
託・委託ができる農業
公社の充実を考えてい
く。

問

柵原地域では台
風9号の影響によ
り町道と水田に冠水が
あり、決壊寸前の河川
には護岸の荒廃や土砂
の堆積などが見られ
る。各地区の区長に被
災個所の確認を取り、
改修を急げ。

質問

台風9号の被災確認と 改修を急げ

地元と相談して
早急に対応する

答弁

答

池本建設課長
各地区の区長と
災害個所の相談を行
い、町道、農道、水路、
ため池、農地を優先し
て調査し、県へ要望す
る。改修工事は早急に
対応する。

質問

旧村単位で
集落支援員の配置を

先進地の取り組みも
研究する

答弁



岩野正則 議員

問 集落支援員制度
ができたが、具体
的内容の説明を。

答 難波企画財政課長
集落支援員は、
人口の減少や高齢化が
著しい集落を市町村な
どと連携して集落を巡
回・点検し、地域住民
との話し合いを進めな
がら地域の活性化を提
言、または助言する役



どうする？耕作放棄地

割を担う。

20年度から総務省が
制度を導入し、支援員
は市町村などの自治体
が雇用することになっ
た。その費用は特別交
付税で交付される。

問

過疎地域の現状
を把握し、住民と
行政が協働で集落対策
に取り組むため、旧村
の単位で集落支援員の
配置を考えるべきでは
ないか。

答

確かに良い制度
であるが、各地区で指
導的立場にある人との
摩擦が心配される。今
後の研究課題である。
このことに関連した空
き家対策にも取り組み
を考えていきたい。

問

県北部の失業率
は高い水準で推移
している現状である。
雇用の場を確保すると
いう考えからも、各地
区に二人の支援員を配
置できないか。地域に
人材を配置すれば、今

答

定本町長
先進地の情報を
取り寄せて勉強してい
く。



農村を守るための行動を

質問

災害防止と産業振興に
森林の活用を

次世代エネルギーは
今後の研究課題

答弁



松田英二 議員

問 8月に発生した台風9号による被災状況と復旧工事の見通しは。

答 池本建設課長

町内の道路・河川・農地などで七十六件の災害が発生。約一億六千万円の予算で22年1月から着工、5月までの完成を目指す。

問 災害が発生する要因の一つに山林の荒廃がある。災害防止の視点から森林整備に取り組み。

災害が発生する要因の一つに山林の荒廃がある。災害防止の視点から森林整備に取り組み。

答

山下産業観光課長
県の森林整備加速化林道再生事業の補助金が確保できれば、21年度から3年計画で町内約五百ヘクタールの間伐、林道整備を行う。

問

バイオマス（木材・生ゴミなどの生物資源をエネルギーとして活用する）、グリーンニューデール（雇用創出と太陽光・風力・バイオマスなどの環境エネルギー政策を結ぶ）、資源循環型社

答

定本町長
CO₂の削減を目指した次世代エネルギーの創出は、太陽光発電なども含めて今後の研究課題である。

問

新エネルギー・産業技術総合開発機構の交付金を活用して町営香花温泉に木質チップボイラーの導入を提案する。

答

難波企画財政課長
燃料費用を比較すると灯油が優先されるが、ペレット燃焼装置などを今後検討する。

質問 災害時の危機管理体制は十分か

町防災計画に基づいて取り組む

答弁

問

災害が発生した時、道路網・通信網寸断への対処、災害応急処置、消防団・地元組織への連絡など危機管理体制は十分か。

答 杉山総務課長

美咲町防災計画に基づいて災害対策本部を設置し、状況に合わせた対応を図っている。

答弁

質問 電子入札導入への対応は
年度内の導入に向けて準備中

問

町では21年度から建設工事の発注に電子入札を導入しているか。対応は十分にしているか。期待される効果は。

答

難波企画財政課長
県の電子入札共同利用システムを活用して建設工事を対象に行う。データベースの作成が完了すると本年度内には運用を開始する。

業者の移動・拘束時間の短縮と行政業務の簡素化・省力化に大きな効果がある。



まためげたがな

質問
感染拡大防止の
対策を急げ

感染予防の
意識啓発を優先

答弁



金谷高子 議員

策本部を設置し、今後の対策方針を決めた。これに基づいて、町では告知放送、広報に

より、うがい・手洗いや感染防止の啓発活動、人が集まる所への消毒液の設置などを行っている。マスクは六千五百枚の備蓄がある。

問 例年インフルエンザの予防接種には公費助成があるが、新型インフルエンザにも助成するのか。

答 村島健康増進課長 いない。国は低所得者に配慮するようなのだが、町としても検討する必要があるが、必要金額が決まっている。

質問
合併後の財政状況は

答弁
大変厳しい状況

問 このほど総務省は、財政悪化度の高い市町村を発表した。財政健全化団体となった市町村のほとんどは、過去の公共投資による過大な借金を抱えている。この判定には、収入に占める借金返済額の割合を示す実質公債費比率など四つの財政指標を用いている。合併して4年が経過した美咲町の財政状況はイエローカードになっ

ているのか。
現在の地方交付税は、合併特例法により26年度まで交付される。その後は段階的に減額され、31年には現在の地方交付税に比べて約八億円程度減額される見込みである。

合併して4年が経過した美咲町の財政状況はイエローカードになっ
ているのか。
今後は、普通建設事業の抑制、事務事業の必要性などを考慮してイエローカードにならないように将来を見据えた財政運営を行っていく。

問 新型インフルエンザの流行が本格的に始まり、感染が急増している。

今のところ、県内の発症は少ないようだが、国などの予想では感染者数三十九万人、入院患者数六千人程度が想定されているもようだ。
町民への対策と感染予防の啓発はできているか。

答 村島健康増進課長 県は9月1日に新型インフルエンザ対



消毒してるの いい子だね(^o^)

答 難波企画財政課長 町の財政は大変厳しい状況にある。

質問

吉井川荘での

検診はできないか

駐車スペースが
少ないためできない

答弁



梁山朝子 議員

問

町民を対象とした癌、結核、内科などのセット検診が毎年行われている。柵原地域では柵原総合文化センターが会場になっているが、以前は吉井川荘で行われていた。

吉ヶ原・藤原地区の検診は吉井川荘でできないか。また、交通手段を持たない人のために送迎はできないか。

答

村島健康増進課長

吉井川荘は入所者への感染症の心配がある。また、検診車両

の駐車スペースが少ないなどの問題があった。さらに、基本検診から特定検診へ移行したため、岡山クリニッ

クの診療スペースまでも確保しなければならぬ状況となり、20年度から柵原総合文化センターで検診を実施している。受診率は変わっていないので、場所の変更は考えていない。

答

定本町長

特定の地域だけ送迎することはできないが、全体の状況を見て検討したい。

児童館の設備を

早急に

問

吉ヶ原児童館の施設整備が遅れているのはなぜか。施設に設置しているパソコンの使用は住民に開放できるのか。

答

定本町長

8月は子どもの利用が多いため子どもの安全を考えて工事を

遅らせた。

パソコンの利用は、申請すれば児童館が閉館したあとなら可能。

窓口での

本人確認を簡略に

問

町民が役場窓口で諸手続きを行う時に、本人確認を求められる。住民基本台帳カードを利用すればスムーズな対応ができるのではないか。

答

定本町長

20年5月1日か

ら法律が改正され、役場窓口での諸手続きの際には確実な本人確認が必要となった。住民基本台帳カードを全町民に発行すれば相当な金額を要する。役場は法に忠実な仕事をしていきたいと考える。

保育士の

正規職員を増やせ

問

保育士は正規職員と、年次的・計画的な採用を望む。

答

定本町長

年次的に正規採用を考えていく。

ゴミの収集回数を

戻せないか

問

柵原地域の可燃ゴミの収集は以前は週二回であったが、今は一回の週がある。生ゴミの処理に苦慮する家庭があるので週二回に戻せないか。

答

山本上下水道環境課長

柵原地域では、18年5月から容器包装リサイクル法に合わせて収集方法を変更した。収集を委託する高齢者福祉事業団の体制などもあり、変更は困難。生ゴミ処理機の助成制度を活用するなどして現状のままで協力してもらいたい。



窓口対応は親切・ていねいに

質問

保健センターを

どう考えるか

中学校建設と

同時進行は無理

答弁

答

定本町長
新しい保健セン

ターは21年度で設計・着工の計画であったが、中央中学校の建設が急浮上したためこれを優先し、凍結となっている。
国政の政権が変わり財政見直しも不透明であり、これからの課題として考える。



小島洋征 議員

問

町長は6月議会
で「保健センターは現在地に残り現施設の改修で対応する」との答弁だった。これまでの経過をどのように認識しているのか。

新保健センターは、保健・医療・介護などの総合的な拠点として整備すべく全議員の賛成により福祉ゾーンに用地を造成した経緯がある。このことを踏まえて議論を尽くし結論を出すべきだと思つが。



健康増進の中核 中央保健センター

質問

「協働」は地域運営の新たな柱

考え方は十分理解している

答弁

協働のまちづくり制度が発足したことで、地域運営の柱が行政と住民との二本柱になったということだと思つが。

答

定本町長
協働のまちづくりの基本は十分理解している。行政と住民が協働してまちづくりをすることだ。

問

地域運営協議会
は「地域要望の取りまとめが基本」と答弁しているが、認識が違つていないか。

「協働のまちづくり」とは、12年に地方分権一括法が成立した流れの中で、地方分権と同時に地方自治体の中でも分権を進めようというところに本質がある。行政主体の地域運営から住民主体の地域運営に切り換えていくということだ。

地域運営協議会は、町長からの諮問を受けて調査、審議を行うとともに地域の要望を総合的な形で取りまとめるものである。一方、50人委員会は部会ごとにポイントを絞つて意見を聞くものであり、行政のそれぞれの課題に関して住民の意見を町政に反映させる目的である。

それぞれの組織で重なる部分もあると思うが、重なってはいけないうちも思っていない。

基本は徹底した情報公開

議会広報編集特別委員会

10月26日～27日

議会だより研修

19年度全国議会広報コンクールで最優秀賞を受賞した京都府南山城村議会への視察研修を行った。

当日は、香川県直島町も視察に訪れていて、三町村がそれぞれの議会の様子などそれぞれし合い有意義な意見交換の場となった。

南山城村は奈良県との境にある山間の村で、人口は約三千五百人。

四人の編集委員が議会だよりの取材・編集に活発な活動を続けている。

基本的な編集方針は、客観的な姿勢による徹底した情報公開。



いい研修になったかな

- ★人の目を引き付ける表紙の写真
- ★見出しの表現方法
- ★一色刷りによる紙面の充実
- ★わかりやすい言葉
- ★読みやすい字数
- など、特に力を注いでいる。
- われわれも教わると

ころが数多くあった。学んだ事を「みさき」に取り入れ、住民から親しまれる議会だよりの作成を決意した。

まちづくり研修

兵庫県朝来市は、17年に四町が合併して誕生した市で、人口は三万四千人。小学校区を単位とした十二のまちづくり協議会を設立している。その中で特に活動が活発な「与布土地域自治協議会」を視察した。

協議会を設立する時、まず始めたのは地域内にある課題の再認識。会議は、役員・女性・若者など、誰もが参加しやすい座談会方式を取り入れ、五回目の会合を終える頃には協議会の母体となる六つの部会ができた。六つの部会が、地域おこし・子育て支援・コミュニティの強化・



みんなでつくったレストラン（百笑茶屋・喜古里）

災害への備えなどの課題を解決するために、それぞれの活動を開始することで、行政に頼らない地域経営を目指した自治協議会が誕生した。美咲町の協働のまちづくりへの取り組みが始まったばかりだが、先進地の考え方には学ぶべきところが多くある。

新しい中学校には

木のぬくもりを

中央中学校建設特別委員会

類似した設計の校舎である津山市の勝北中学校などの視察を行った。

現代にマッチした斬新なもので、開放感があり、特に採光面では大変明るく、施設管理のうえで教室の配置

もよく考慮された建物である。

特別委員会の意見は、中学校建設には「県内産木材をふんだんに使用する」中庭はその



木造校舎の視察をする美咲町議員団

機能が発揮されない場合はなくす」などである。また、中央中学校建設検討委員会と調整し、必要とあれば両委員会の意見交換会の開催を教育委員会に依頼した。

読んでもらえる

議会だよりを作りたい

福岡県遠賀町議会が来町

10月14日、福岡県遠賀町議会広報調査特別委員会が視察研修に来町された。

遠賀町は福岡県の北部に位置する人口一九千六百人の町で、福岡市・北九州市のベッドタウンとして栄えている。

今回の視察は、わが議会広報が全国コンクールで奨励賞を受けたことで研修地に選んだとのこと。

資料を基にそれぞれの広報編集方法の説明を行い、二時間にわたる熱心な質疑応答が行われた。

遠賀町の編集委員は六人で、うち一人が女性。十二ページの紙面に議会活動を盛り込み、特に表紙の写真に



活発な意見が続々

季節ごとの花を取り入れ「読んで見よう」という意識の掘り起こしに力を注いでいる。

美咲町議会だよりの紙面二色刷り、活字の大きさ、二十四ページの内容の豊富さ、写真のコメントなどに興味を持たれた様子が見えた。

議会だよりが持つ重要性の認識を新たにし、両町の発展を期して終了した。

臨時会の報告(10月21日)

国の新型インフルエンザ対策補助金、町の20年度繰越金などを財源に緊急的な予算措置を行うべく、一般会計三千四百六十五万円などの補正予算案が提案された。この予算案を審査し、全会一致で承認した。

★治山災害復旧事業

(小規模ため池補強など)
三百六十三万円
(中央、旭地域治山災害復旧)

◎柵原公共下水道事業

特別会計補正予算
六千四百万円
(吉ヶ原道路舗装工事、藤原汚水管渠工事)
特別会計補正予算

◎飯岡簡易水道事業

特別会計補正予算
二百六十三万円
★簡易水道事業

★安心子ども基金事業
二百六十九万円
(保育園、児童館の備品購入など)

★予防接種事業

二千六十八万円
(妊産婦などへの新型インフルエンザ予防接種補助金)

★新エネルギー

省エネルギー推進事業
二百九十五万円
(太陽光発電設備、エコカー補助金)

★土地改良など事業

三百一十万円

予算総額は

179億円

一般会計は、百十三億七千五百四十七万円、特別会計は六十五億八千五百九万円となり、今年度の予算総額は百七十九億六千五百六十六万円となった。

組合議会からの報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

津山広域事務組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町)

7月30日、臨時会を開催し、議長・森下氏(津山市)、副議長・河田氏(鏡野町)を選出した。

報告事項

◎22年度に事業費一億円で雇用労働センタ―外壁改修工事を予定。

◎津山市を中心とした関係市町村で定住自立圏協定締結に向けた協議を始める。

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野・奈義・勝央・久米南・美咲町)

7月30日に定例会を開催し、議長・森下氏(津山市)、副議長・貝阿彌氏(美咲町)を選出した。

報告事項

◎柵原出張所に高規格救急自動車を配備する。

◎国の補正予算により、本組合へ緊急消防援助隊支援車I型が無償配備される。

津山農業共済事務組合

(津山市、鏡野・久米南・美咲町)

7月30日に臨時会を開催し、議長・森岡氏(津山市)、副議長・水田氏(鏡野町)を選出した。

報告事項

◎掛け金率の条例を一部改正した。

中部環境施設組合

(真庭市、美咲町)

7月24日に臨時会を開催し、議長・森田氏(真庭市)、副議長・三船氏(美咲町)を選出した。

報告事項

◎補正予算千二百二万円を追加。ゴミ処理施設機能検査委託料、処分場整備費など。

柵原吉井英田火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)

7月1日に臨時会を開催、議長・草苺氏(美咲町)、副議長・下山氏(赤磐市)を選出した。

久米老人ホーム組合(静香園)

(津山市、久米南・美咲町)

9月1日に臨時会を開催し、議長・貝阿彌氏(美咲町)、副議長・庄司氏(津山市)を選出した。

柵原吉井特別養護老人ホーム組合(吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)

8月10日に臨時会を開催し、議長・下山和由氏(美咲町)、副議長・下山哲司氏(赤磐市)を選出した。

報告事項

◎22年度に事業費二億四千九百万円で吉井川荘に二十床増やす。



元気が1番 (静香園の運動会)

世代を超えて 熱き戦い 『SAKURAリーグ』

町体協旭支部ソフトバレーボール部

町内のサークルを紹介し
ます。
楽しいサークル、ユニークなグループご連絡ください。
議会広報委員がおじゃま
します。

9月24日、待ちに待ったソフトバレーボールリーグの開幕。会場は旭中学校体育館を訪問。久しぶりの公式戦、十代から六十代まで世代を超えた熱き戦いを前にインタビューしました。

いつ頃から活動していますか

19年4月に美咲町体育協会旭支部に加入しました。町のPTA大会を機に結成したチーム、町内会の人たちが集まって長年練習してきたチーム、保育園の保護者、消防団、体育指導員、職場のチームなど、さまざまな人たちが所属。現在、十五チーム、百三十人が参加しています。



どのような活動をしていますか

『SAKURAリーグ』と称して、四人制で春と秋のリーグ戦、



ソフトバレーで地域が元気になってるよ (旭中学校体育館)

ど、季節をとわず、ソフトバレーボールを一年中楽しんでいきます。また、審判講習会などでレベルアップも図っています。

六人制でトーナメント戦など開催しています。試合がない時期は、各チームでの練習やほかのチームとの交流な

年齢・経験に関係なく、だれもが気軽に楽しめるスポーツで、地域のたくさんの方が集まり、交流しています。

今後の目標は

美咲町全体のリーグ戦、ほかの市町村と交流戦なども開催したいです。いくつになっても、だれでも参加できる部として楽しく活動を続けていきたいです。

議会だよりは読んでいますか

とても読みやすく、楽しみにしています。

議会にひと言

近隣市町村に負けないう『文化・芸術・スポーツ』分野の環境整備、充実をお願いします。

編集後記

慌ただしく時が過ぎ、晩秋という言葉が似合う季節になりました。

9月から国の政権が変わりました。政治・行政の大きな変革と社会全体の新たな胎動を予感させます。

中央政治の変化が、地方行政・地域社会にどのような影響を及ぼしてくるのか。具体的にはまだ何も見えてきません。

私たち広報委員は、可能な限りすべての活動を議会だよりに掲載し、皆さんと共に歩む広報づくりに努めます。

ご助言をよろしくお願ひします。

(小島記)

- 議会広報編集特別委員会
委員長 松田 英二
副委員長 小島 洋征
金谷 高子
岩野 正則
草苺 良明
松島 啓